

03 家庭裁判所調査官

少年の
「変わりたい」のために、
自分にできることを
考え続ける

現在、私は少年事件を担当しています。少年事件の手續の中で、家裁調査官は、どうして少年が非行に至ったのか、その背景を明らかにし、今後非行を繰り返さない生活を送るために必要なことは何かを少年と一緒に考えて、それらを裁判官に報告することが主な仕事です。また、親や学校の教師などと少年について話し合ったり、少年の非行に影響を与えている要因に着目して、様々な方法で働き掛けを行ったりしています。

家庭裁判所に来た少年が少しでも良い方向に変わってほしいという思いは採用当時から変わりません。ただ、少年とどう関わるのがよいのか、何をどう伝えればよいのかに、毎回悩みながらこの仕事を続けています。その中でも、少年が非行に至るまでには必ずそれぞれのストーリーがあって、それを少年と一緒に振り返りながら、少年なりの変えたい、変わりたいと思う気持ちを大切にできたら、と思うようになりました。もちろんうまくいくことばかりではなく、こちらの考えを押し付けてしまったり、少年のことを理解しているつもりになってしまったり、試行錯誤の毎日です。それでも面接で少年とあ



湯本 沙樹

大阪家庭裁判所堺支部 家庭裁判所調査官（H30採用）

【略歴】H30 大阪家庭裁判所家庭裁判所調査官補（採用）

R2 岐阜家庭裁判所大垣支部家庭裁判所調査官

R5 現職

れやこれやと話すうちに、更生に向けたヒントがお互いに見えたとき、少しは私在家裁調査官として関わった意味があったのかもしれないと思ってやりがいを感じます。

調査で迷ったり悩んだりしたときは、先輩調査官に相談していろいろな意見をいただきます。生き字引のように経験豊富な方や、心理検査が得意な方など、皆さんそれぞれが家裁調査官としての熱意と魅力、長所を持って仕事をされていて、たくさんの個性が集まって、家裁調査官としての経験年数にかかわらず知恵を絞り合う環境であることが、この職場の魅力だと思います。これからも周囲

の皆さんの力を借りながら、家裁調査官としてのあり方を模索していきたいと思っています。



全国転勤の仕事なので、各地で人や食べ物、名所などの様々な出会いを楽しみにしています。前任庁で勤務していた際は、コロナ禍で思うように外出ができない時期でしたが、そんな中でも習い事を始めたり、職場の皆さんに教えてもらってテニスを始めたりと、今までゆかりのなかった土地でも思いがけずたくさんのご縁に恵まれて、楽しく充実した時間を過ごすことができました。

1日のスケジュール



8:30
始業

その日の調査の準備をしたり、事件の記録を読んだりします。



9:30
少年鑑別所に出張

少年と面接するほか、鑑別所技官とカンファレンスを行って理解を深めています。



11:45
帰庁後、裁判官とカンファレンス

少年の調査について、随時裁判官と情報共有して調査の内容をブラッシュアップしていきます。



12:15
昼食

近くにお店がたくさんあるので、お昼はその時々で好きなものを選ぶことができ、気分転換にもなっています。



13:00
研修についてのミーティング

外部講師の方を招いて行う調査官のための研修の企画を行います。



14:00
少年調査票作成

分かりやすくまとめることを意識します。先輩調査官からのフィードバックもいただきます。



17:00
終業

翌日の予定を確認して退庁します。